

はじめに

1. 計画策定の目的
2. 防府市景観計画の位置づけ

はじめに

1. 計画策定の目的

防府市では、平成13年2月の「防府市都市景観形成基本計画」の策定、平成14年3月の「防府市都市景観条例」の制定などにより、良好な都市景観の形成に必要な事項を定めて、景観形成の推進に努めてきました。しかしながら、これらの計画及び条例には法的根拠がないため、実効性を伴った取組ができないといった課題が見受けられました。

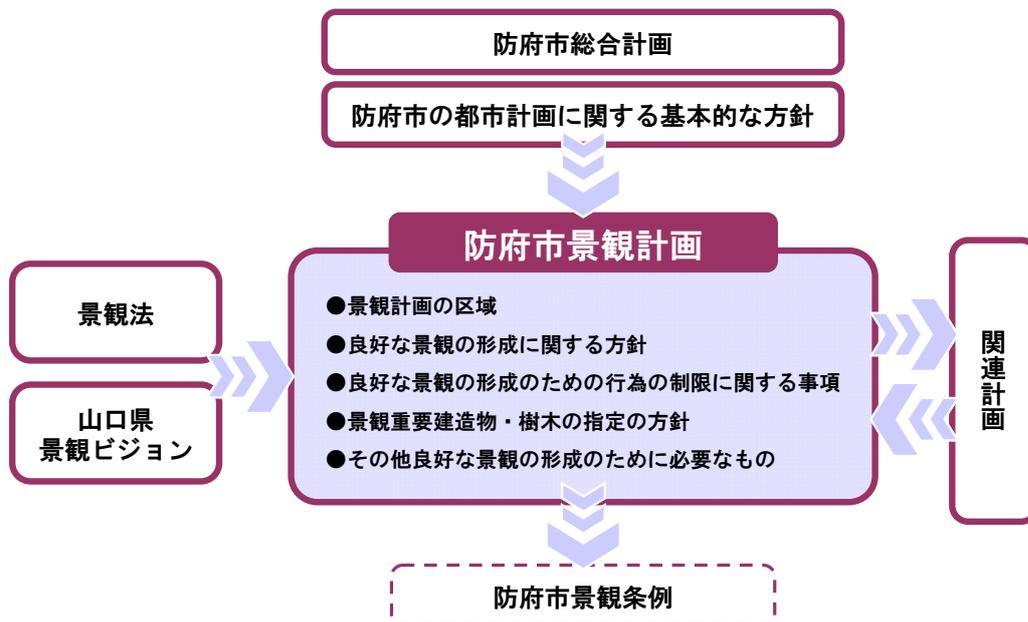
そのような中、我が国ではじめて景観に関する総合的な法律である景観法（平成16年法律第110号）が平成17年に全面施行され、景観行政を進めていく上での強制力を伴う法的枠組みが用意されました。この法律により、各景観行政団体が、景観計画や景観条例を定めることで、地域の特性をいかした良好な景観形成に向けた実効性のある取組を推進していく環境が整えられたといえます。

このような背景の中、本市は、平成20年4月1日に景観法の規定による「景観行政団体」となりました。そこで、本市固有の「都市のイメージ」を明確にし、失われつつある「防府らしさ」に歯止めをかけ、良好な景観を後世に引き継いでいくために「防府市景観計画」を策定するものです。

2. 防府市景観計画の位置づけ

防府市景観計画は、景観法第8条に基づき、景観行政団体として本市が定める景観形成の基本的な指針となるものです。

この計画は、これまでの本市の景観形成の指針となっていた「防府市都市景観形成基本計画」や「防府市都市景観条例」を基本としながら、景観法に定められた「景観計画」として必要な事項を定めています。また、「防府市総合計画」、「都市計画に関する基本的な方針」などの上位・関連計画との整合を図りつつ、本市の良好な景観の形成に関する方針や具体的な取組について示すものです。



防府市景観計画の位置づけ

第1章 防府市の景観特性

1. 防府市の景観づくり

1-1. 「景観」とは

1-2. 防府市の「景観づくり」とは

2. 防府市の景観特性

2-1. 防府市の景観特性を把握する視点

2-2. 防府市の景観特性

2-3. 市民が評価する景観資源

2-4. 防府市の景観づくりの課題

2-5. 防府市の景観特性図

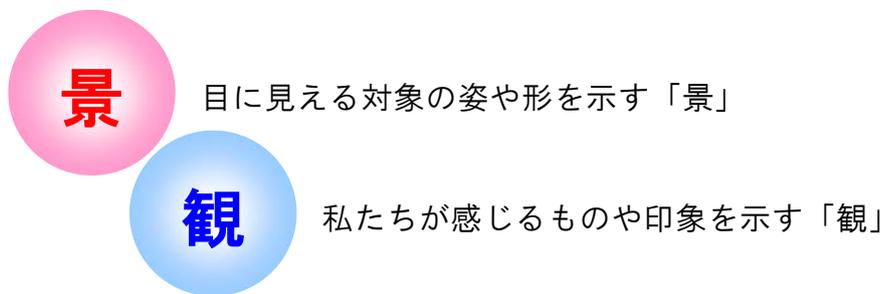
第1章 防府市の景観特性

1. 防府市の景観づくり

1-1. 「景観」とは

「景観」という言葉は、目に見える対象の姿や形を示す「景」という文字と、私たちが感じるものや印象を示す「観」という文字が組み合わされた言葉です。つまり、「景観」という言葉は、“まちや地域がどのように見え”それを“どのように感じるか”と捉えることができます。

また、景観は、自然やまち並みといった目に見える姿・形だけでなく、地域の歴史・文化、人々の暮らしや経済活動など、そこに息づく様々な要素や背景が重なりあって見えてくるものといえます。



1-2. 防府市の「景観づくり」とは

景観づくりとは、見た目の美しさだけを求めるものではなく、そこに住む人や訪れる人が愛着や魅力を感じるものとしていくことが大切です。景観づくりに取り組むということは、まち全体のイメージを向上させることであり「まちづくり」そのものといえます。

また、景観づくりは、短期間に完成されるものではなく、長い時間をかけて培われていくものといえます。長い歴史の中で、先人達が創り上げてきた“防府らしい景観”を、これからも守り、育て、いかしながら、次世代に引き継いでいくことが重要です。

【景観づくりへの期待】

- 景観づくりに取り組むことで、まちや暮らしに対する愛着や誇りが育まれることが期待されます。
- 本市の特徴的な自然景観、歴史・文化の景観などを守り伝えること、新しい魅力となる景観をつくることで、防府市全体の個性やイメージを高めることが期待されます。
- 防府市全体やそれぞれの地域の魅力が高まることで、そこに訪れる人々が増え、観光、交流、地域の活性化につながることを期待されます。

2. 防府市の景観特性

2-1. 防府市の景観特性を把握する視点

本市の景観特性を体系的に抽出、整理するため、「景観の類型」と「景観の形状」の2つの視点から分類します。

【景観の類型からの分類】

本市は、山口県のほぼ中央部に位置し、南は瀬戸内海（周防灘）に面し、北は中国山地が連なり、古くから周防の国の国府として栄えた歴史のあるまちです。このような地勢や歴史によって育まれてきた特徴的な景観資源を、「自然の景観」と「歴史・文化の景観」、「生活の景観」に分類します。

【景観の形状からの分類】

本市の景観を構成する要素を、一定のまとまりや広がりをもった「面的な景観」、山の稜線、河川、道路などのつながりをもった「線的な景観」、建造物、ランドマークとなる施設などの「点（拠点）的な景観」に分類します。

◆面的な景観

面的な景観は、一定のまとまりや広がりのある景観で、本市の景観構造の基盤となるものです。景観を支える素地として、その地域における地形や土地利用に基づく人々の営みに大きな影響を受けるものといえます。

◆線的な景観

線的な景観は、山の稜線、河川、道路など、連続性やつながりを持って形成される景観です。

◆点（拠点）的な景観

点（拠点）的な景観は、各地域に点在する建造物、神社仏閣、ランドマークとなる施設や樹木など、地域固有の景観資源です。また、各種の神事・祭事、伝統芸能、イベントなども、空間的かつ時間的な点における景観資源として捉えることができます。

2-2. 防府市の景観特性

「景観の類型」と「景観の形状」の分類に基づき、本市の景観を構成する主要な要素を抽出し、特徴的な景観を整理します。

(1) 自然の景観

1) 面的な景観

◆市街地の背景となる雄大な山並みの景観

市北部には中国山地が連なり、東方には市最高峰の大平山、西方には険しい右田ヶ岳がそびえ、緑豊かな山並み景観を形成しています。これらの山々は、自然の豊かさや雄大さを示し、本市の背景を形づくる景観となっています。



◆豊かな田園景観

佐波川や横曽根川沿いには、まとまりのある肥沃な農地が広がっています。また、市北部には、周囲の自然と一体となった棚田景観が形成されています。これらの農地は、日常生活と生産活動が密接に結びつき、豊かな田園景観を形成しています。



◆瀬戸内海の穏やかな海辺の景観

富海海岸、田ノ浦海岸などの海辺は、海水浴などにおける市民の身近なレジャー空間であるとともに、広大な海の景観を眺望できる貴重な場となっています。また、三田尻中関港の南東約15kmに位置する野島は、瀬戸内海国立公園内に位置し、瀬戸内の美しい島々と穏やかな瀬戸内海を眺めることができます。



2) 線的な景観

◆市街地を囲む山並みの稜線

本市を取り囲む、大平山から矢筈ヶ岳、右田ヶ岳、西目山、楞厳寺山へと続く山並みの稜線は、緑豊かな本市の骨格を形成しています。



◆本市を代表する佐波川の河川景観

本市の河川を代表する佐波川は、ゆったりとした川幅から、遠景や対岸の風景を見渡せる優れた河川景観を有しています。また、河川敷には、スポーツ・レクリエーションの場となる緑地や水辺が整備され、やすらぎを与える貴重な水辺空間を形成しています。



◆潤いややすらぎを与える水辺景観

本市には、大小様々な河川が流れ、潤いややすらぎを与えてくれる水辺景観を形成しています。特に、市街地を流れる水路などは、貴重な水辺空間となっています。



3) 点(拠点)的な景観

◆シンボリックな「緑」や「水」の景観

天神山、桑山などは、市街地の貴重な緑の空間として、身近で親しみのあるシンボリックな景観となっています。これらの山々は、緑の景観の対象であるとともに、市街地を見渡す良好な眺望点としての役割も担っています。



また、長沢池などの幹線道路沿いから目にすることができる水辺、御舟倉跡の歴史的な水辺空間など、多様な水辺景観を有しています。



(2) 歴史・文化の景観

1) 面的な景観

◆歴史的価値の高いまち並み

防府天満宮周辺は門前町として、三田尻中関港周辺は港町として栄えたところであり、歴史的な趣をもった景観をとどめています。特に、旧山陽道と萩往還が重層する宮市地域、萩往還関連遺跡が点在する三田尻地域、旧山陽道が通り海に面する富海地域などでは、歴史的価値の高いまち並みが残され、優れた景観を有しています。



宮市地域



三田尻地域

◆長い歴史を伝える遺跡・史跡群

本市には、大日古墳、車塚古墳、下右田遺跡など、長い歴史を伝える貴重な遺跡・史跡群が点在しています。これらの遺跡・史跡は、地域の長い歴史を語る貴重な資源として、大切に守られています。



大日古墳



車塚古墳

2) 線的な景観

◆往時の面影を残す街道

本市は、古くから交通の要衝として発展してきており、旧山陽道や萩往還は、沿道の建築物などと一体となって、往時の面影を残しているところがあります。また、これらの街道沿いには、様々な歴史的文化的遺産が点在し、本市で培われてきた歴史や文化を物語る景観を形づくっています。



旧山陽道(周防国分寺前)



萩往還(天神通り)

3) 点（拠点）的な景観

◆歴史を物語る貴重な遺産

市内には、防府天満宮、毛利氏庭園、周防国分寺、周防国衙跡など多くの神社仏閣や歴史的文化遺産が点在しています。これらの神社仏閣や歴史的文化遺産は、古代から現代までの長い歴史を物語る貴重な遺産であるとともに、本市のイメージを特徴づける重要な景観要素となっています。



防府天満宮

◆地域固有の風土を形成してきた神社仏閣

市内の各地域には、多くの神社仏閣が点在しており、これらの多くは古くから地域の信仰の対象となってきました。また、神社仏閣を取り囲む豊かな緑は、地域固有の風土形成に大きく関わっており、景観上も重要な役割を担っています。



周防国分寺



東大寺別院阿弥陀寺

◆本市の発展の足跡を伝える近代遺産

現在では工業地帯へと変貌をとげた三田尻地域では、近代産業を支えた塩田跡をしのぶことができる三田尻浜大会所跡、三田尻塩田記念産業公園など、本市の発展の足跡を伝える景観が大切に残されています。



玉祖神社（玉祖）



三田尻塩田記念産業公園

◆地域に継承されてきた神事・祭事、伝統芸能

本市には、玉祖神社（玉祖）の占手神事、宇佐八幡宮の腰輪踊り、防府天満宮御神幸祭など、長い歴史を持つ神社仏閣の年中行事、神事などが受け継がれています。また、大道の小俣地域に伝わる笑い講は、地域の古い歴史やしきたりを今に伝える奇祭として高い知名度を誇っています。このような地域固有の神事・祭事、伝統芸能などは、本市のイメージを内外に発信する貴重な機会となっています。



占手神事

(3) 生活の景観

1) 面的な景観

◆にぎわいの核となる中心市街地

防府駅を中心に、商業・業務機能が集積した中心市街地が形成され、にぎわいの核となっています。

また、防府駅周辺の土地区画整理事業、市街地再開発事業などにより、ルルサス防府、アスピラートなどのシンボリックな施設整備が進み、近代的な都市景観の形成が進んでいます。



防府駅(てんじんぐち)



ルルサス防府

◆ゆとりや潤いのある居住地域

中心市街地周辺に広がる住宅地は、低層住宅が主体であり、ゆとりのある居住地景観を形成しています。近年、防府駅周辺に高層マンションの建設などが見受けられるようになり、中心市街地の景観に変化の兆しが見えつつあります。

また、郊外における自由ヶ丘、西浦平原団地などの計画的に宅地開発が行われた住宅地では、ゆとりや潤いのある良好な居住地景観を形成しています。



広がる住宅地



田園景観(富海)

◆豊かな田園景観・漁村景観

佐波川や横曽根川沿いに広がる田園地帯、山間部の農村集落、沿岸部や島しょ部に点在する漁村集落では、豊かな自然を背景に、日常生活と生産活動が密接に結びついた地域固有の豊かな田園景観・漁村景観を形成しています。



漁村景観(野島)

◆活力のある工業地景観

塩田跡地などの臨海部を中心に、自動車関連の大規模工場が立地し、活力のある工業地の景観を形成しています。

また、立ち並ぶ煙突は市内各所から視認できるため、全市的な景観特性にも大きな影響を与えています。



工業地帯(勝間)

2) 線的な景観

◆にぎわいを生み出す商業・サービス施設

自動車交通における東西軸となる国道2号、旧国道2号、南北軸となる国道262号を中心に、沿道への商業・サービス施設の立地が進み、にぎわいのある景観を形成しています。また、工場跡地に進出した大規模商業施設などは、新たなにぎわいの景観を生み出しています。



大規模商業施設



旧国道2号(植松周辺)



山陽自動車道



山陽自動車道

◆本市の景観に影響を与える鉄道や道路

本市には、山陽新幹線や山陽本線、山陽自動車道といった広域的な移動に資する、鉄道や道路が市内を通過しています。これらの鉄道や道路の高架橋をはじめとした構造物は、本市の景観形成に大きな影響を与える要素となっています。また、これらの鉄道や道路の利用者には、市民や本市への来訪者だけでなく、市内を通過する人々も含まれ、本市のイメージを認識する眺望点としての役割も担っています。

3) 点(拠点)的な景観

◆交流の機会となるイベント

本市では、防府まつり総おどり大会、愛情防府フリーマーケット、防府読売マラソン大会などのイベントが開催され、地域の活力やイメージ形成に寄与しています。これらのイベントなどは、多くの来訪者を集め、市民や地域住民との交流の機会となっており、来訪者などに対して本市のイメージを発信する貴重な機会となっています。



防府まつり総おどり大会



愛情防府フリーマーケット

2-3. 市民が評価する景観資源

特徴的で良好な景観や愛着のある景観は、本市の自然、歴史・文化、生活の象徴であり、市民の誇りとなっています。

アンケート調査（平成22年9月実施）では、防府市を代表する景観として「防府天満宮」、「大平山」、「毛利氏庭園・毛利邸」、「佐波川」、「天神山」などがあげられました。また、それぞれの分類ごとに、地域に根付いた様々な景観資源が評価されています。

これらの多様な資源は、市民の心に息づいているものであり、いわば「防府らしさ」の象徴といえます。

◆市民があげた防府市の魅力的な景観

自然の景観	歴史・文化の景観	まち並みの景観	地域の行事
佐波川	防府天満宮	防府駅前	御神幸祭(裸坊祭)
大平山	毛利氏庭園・毛利邸	天神地区のまち並み	防府まつり総おどり大会
右田ヶ岳	周防国分寺	宮市のまち並み	防府天満宮夏祭り大花火大会
桑山	東大寺別院阿弥陀寺	防府天満宮周辺	御誕辰祭
富海海岸	玉祖神社(玉祖)	ルルス防府周辺	花神子社参式

景観上重要な建造物	景観上重要な樹木	景観上重要な公共施設	市を代表する景観
防府天満宮	向島小学校の寒桜	防府市公会堂	防府天満宮
毛利氏庭園	桑山の桜	桑山公園	大平山
ルルス防府	防府天満宮の桜	大平山山頂公園	毛利氏庭園・毛利邸
周防国分寺	防府天満宮の梅林	アスピラート	佐波川
アスピラート	大平山のつつじ	天神山公園	天神山

※アンケート調査より（項目ごとに上位5つを記載）



2-4. 防府市の景観づくりの課題

本市の景観形成における課題を、「景観の種類」による視点で抽出、整理を行います。

(1) 自然の景観

◆豊かな緑の保全

市街地の背後に広がる大平山、右田ヶ岳などの特徴ある山並み、市街地の貴重な緑の空間となっている天神山や桑山、市内各地に点在する社寺林など、本市は豊かな緑に囲まれています。また、佐波川沿いの広大な田園、北部に点在する棚田などでは、人々の営みに密着した緑の空間が形成されています。

しかしながら、農林業を取り巻く環境の変化、市街地の拡大による土地利用の変化などから、貴重な緑の喪失も見受けられ、これらの豊かな緑を将来にわたって保全していくことが重要です。

◆水辺空間の保全・活用

本市は、佐波川に代表されるように大小様々な河川や水路が市街地を縦横に通り、水に恵まれた土地柄にあります。これらの水辺空間は、市民の生活に潤いを与えると同時に、スポーツ・レクリエーション空間としての利用が行われており、今後も、保全・活用していくことが重要です。

また、佐波川では、「防府市佐波川清流保全条例」に基づき、「歴史の川にホテル舞う・佐波川の清流を後世に」との目標の下に、佐波川の清流を保全し、後世に引き継ぐ取組を進めています。このような取組との連携を図りながら、美しい水辺景観の形成に努めることが重要です。

◆貴重な海辺景観の保全・活用

本市は、周防灘に面しているものの、海岸線は岩礁や工業地帯が広がり、海辺に近づけるところが限られています。

このような中、富海海岸や田ノ浦海岸は、優れた砂浜海岸を形成し、海水浴などのレクリエーション空間や広大な海を眺望できる空間となっており、これらの貴重な海辺景観を保全・活用していくことが重要です。

また、三田尻中関港の南東15kmに位置する野島は、瀬戸内海国立公園の一角を占めており、豊かな自然景観を守り、活用していくことが重要です。

(2) 歴史・文化の景観

◆まち並み景観の保全・活用

旧山陽道や萩往還沿いのまち並み、周辺に点在する歴史的文化遺産は、本市の歴史的な風情を感じることで重要な景観要素となっています。しかしながら、老朽家屋や無秩序な建築物などによって、まち並みに変貌が生じ、歴史的な風情が喪失しつつあります。

このことから、残存する歴史的文化遺産の保全を基本とし、建築物の新築、改築時などにおける適切な誘導・改善を図ることで、歴史を感じる風情のあるまち並みの保全・活用を図ることが求められています。

◆歴史・文化的な景観資源の継承、活用

本市の歴史・文化的な景観資源は、旧山陽道や萩往還の旧街道沿いを中心に、市内各所に点在し、それぞれの地域において個性ある景観を形成し、「防府らしさ」を語る上で重要な役割を担っています。

今後も、これらの景観資源の保全に努め、観光や交流資源としての活用を図ることで、地域の活性化につなげていくことが重要です。

◆地域固有の神事・祭事、伝統芸能の継承・発展

玉祖神社（玉祖）の占手神事、宇佐八幡宮の腰輪踊り、防府天満宮御神幸祭など、地域固有の神事・祭事、伝統芸能は、長い歴史の中で引き継がれてきたものが多く、地域の誇りとして、また、「防府らしさ」を象徴するものとなっています。しかしながら、人口減少、少子高齢化、継承者不足などにより、これらを持続していくことが難しくなっているものも見られます。

このような中、市民の誰もが、その価値を再認識し、誇りと愛着を高めることで、次世代へ引き継ぎ、発展させていくことが重要です。

(3) 生活の景観

◆にぎわいのある市街地景観の形成

本市の玄関口である防府駅周辺は、土地区画整理事業、市街地再開発事業などにより、新たな市街地景観が形成されています。しかしながら、新たな施設整備が進む一方で、古くからの建築物が残されていることから、ふぞろいでまとまりのない都市景観となっている感も否めません。さらに、中心市街地としての求心力の低下から、商店街の一部では空き店舗なども目立ち、にぎわいが喪失しつつあります。

このことから、中心市街地のにぎわいや活気ある都市景観の形成に向け、ハードとソフトの両面からの取組が求められています。

◆沿道の商業・サービス施設の規制・誘導

旧国道2号などの幹線道路の沿道には、商業・サービス施設の立地が進み、にぎわいのある景観を創出しています。一方、これらの施設は、それぞれの施設に応じ、様々な形態・意匠となっているため、一体感や統一感に乏しい景観となっている状況にあります。また、これらの施設に付属する屋外広告物などは、景観を乱す要素となっている場合も見受けられます。

このことから、沿道に立地する建築物、屋外広告物などの適正な規制・誘導を図るとともに、街路樹による沿道の緑化などにより、沿道景観の質を高めることが必要です。

◆やすらぎや潤いのある居住地景観の形成

市街地中心部の住宅地では、土地利用の混在化、高層マンションの建設などが進んでいることから、周辺との調和に配慮して景観づくりを進めていくことが重要です。また、人口の流出などを背景とした空き家の増加なども見受けられ、住宅地景観を阻害する要因となっており、その対策が求められています。

さらに、郊外部の住宅地、農山漁村などにおいては、周辺の自然環境や生産活動との調和を図りながら、やすらぎやゆとりのある住宅地景観を保全していく必要があります。

◆活力ある工業地景観の形成

塩田跡地などの臨海部に広がる工業地は、沿道の緑化などが取り組まれており、ゆとりや潤いのある工業地景観となっています。一方で、近年の世界的な経済の低迷の中、本市の工場にも撤退などの動向が見られます。

今後も、適正な土地利用の下、周辺環境との調和を図りながら、本市の活力の象徴となる景観形成に努めていく必要があります。

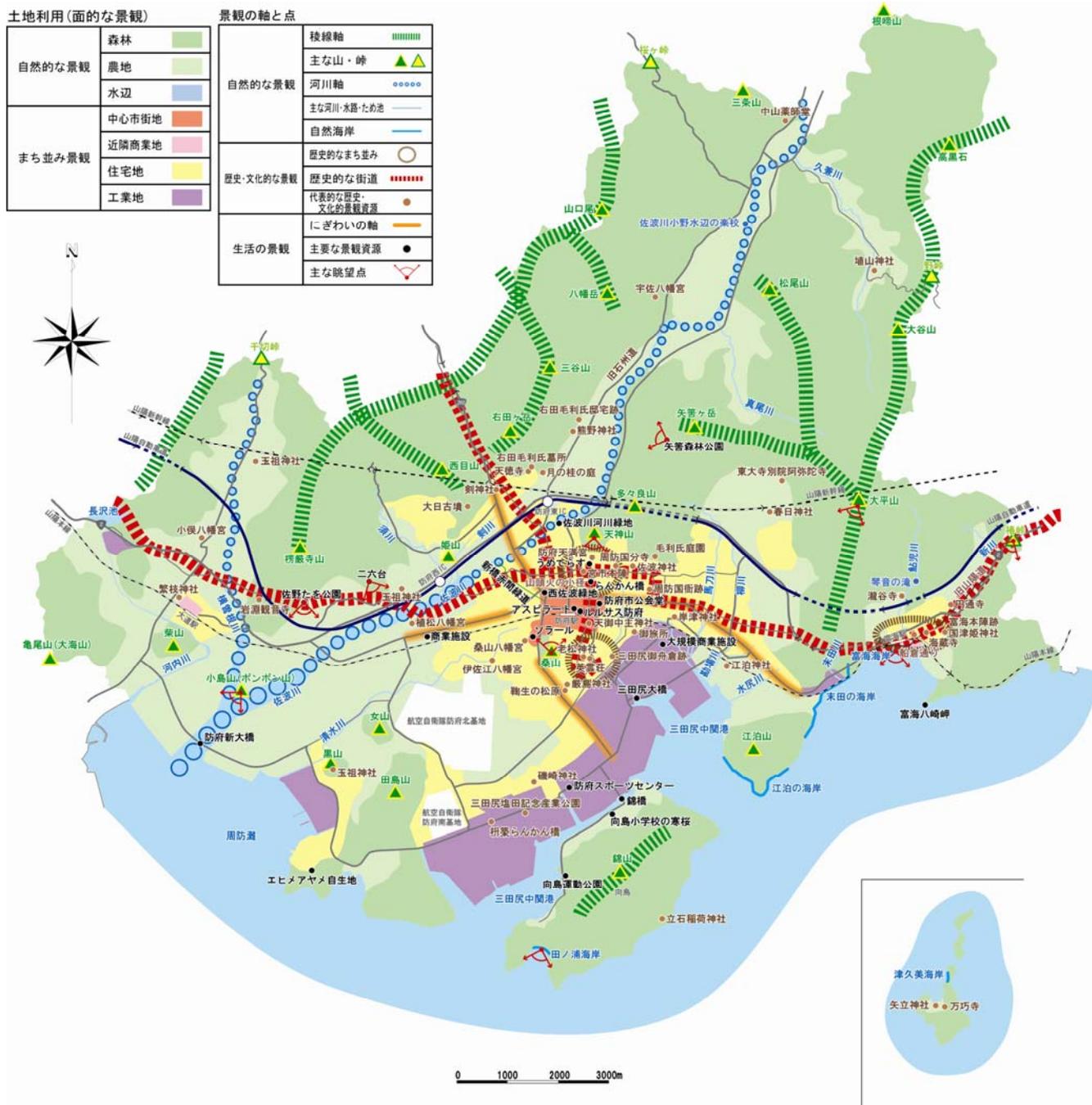
◆交流の機会となるイベントの発展

本市では、多くの人々が集まる防府まつり総おどり大会、愛情防府フリーマーケットをはじめ、市内の各所で地域住民の交流イベントなどが開かれ、様々な交流の機会となっています。

今後も、地域の活力やイメージ形成につながるものとして、幅広い年齢層の参画を促し、各種イベントの発展に努める必要があります。

2-5. 防府市の景観特性図

景観特性や課題を踏まえ、本市の景観イメージを「景観特性図」として示します。



景観特性図